

日刊 建設工業新聞

宇治川大橋補修に採用

日綜産業のクイックデッキ

近畿地方整備局京都国道事務所発注の「国道1号宇治川大橋補修工事」に日綜産業の先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」が採用され、写真、発注者・施工者に好評だ。京都府内では3例目で京都国道事務所発注では初めて。26日に現場を公開した。施工(元請)はシヨ



ーボンド建設。足場組み立てはダイライトが担当。

国道1号枚方バイパスの1級河川宇治川を渡河する宇治川大橋(橋長546・58㍎の鋼製桁橋)は、66年に開通。老朽化対策として、

昨年9月から橋梁補修工事が進んでいる。

工事に伴う足場工事では「より安全で効率施工が期待できる」クイックデッキが採用された。

現場の指揮を執る中堅松ニシヨボンド建設近畿圏支社技術部主査は「当現場では約3500平方㍎のつり足場を架設した。通常のつり足場に比べつりチェーンプッチが広く、デッキの送り出しも容易で安心して

作業ができる」と高く評価する。

クイックデッキは、トラス構造のジョイスト(主梁)と連結ノード、デッキパネ

ル、つりチェーンに手すりや支柱、幅木、孫梁などで構成。最大積載荷重350キログラム/平方㍎、最大つりチェーンプッチ5×5㍎を実現。14年6月の発売以来、橋梁補修工事のほか大型ショッピングモールの天井工事などに採用され、現在、

全国で納入・稼働中現場は200件以上となっている。15年5月に国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている。

工事概要は次の通り。

▽工事名Ⅱ国道1号宇治川大橋補修工事▽工事場所Ⅱ京都市伏見区横大路千両松地先▽工事内容Ⅱ舗装工一式、橋梁付属物一式、橋梁補修工一式▽工期Ⅱ16年9月28日～17年7月15日。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

近畿整備局の宇治川大橋補修 クイックデッキ活躍

一設
シ建
ンド
エン
施ボ

1級河川宇治川に架かる国道1号宇治川大橋(京都市伏見区)の補修工事で、日綜産業の新型システム吊り足場「クイックデッキ」が活躍している。写真。

工事は近畿地方整備局京都国道事務所が発注、シヨボ

ンド建設で施工中。供用から半世紀が経過した宇治川大橋(長さ546m、幅22m)の重要なリニューアル工事だ。シヨボンド建設のクイックデッキ採用は全国で3件目。京都国道事務所の工事では初めて、京都府下では3件目になる。



宇治川大橋補修工事はことし7月15日までの完成に向け、5月末現在の進捗率は85%。足場上で日々10-30人が作業してきた。足場組み立

てはディライトが担当。クイックデッキは約3500平方mが採用された。

中堅松一作業所長は「作業員に好評だ。吊りチェーンのピッチが2・5mの間隔と広く、作業性に優れている。送り出し工法での仮設は最大5mなので安全に足場が組める。また、1平方m当たり最大350kgの積載荷重が見込め、強度的にも安心できる」と評価する。



クイックデッキは2014年の発表以来、納入・稼働中の現場は200件以上になる。15年5月に国土交通省の新技術情報システム(NETIS)に登録を完了後、メンテナンス時代にに向けて橋梁等の点検

・補修など公共工事に市場が拡大している。

日刊建設産業新聞

発行所

日刊建設産業新聞社

本社
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9
電話 03(3961)1891(代表)
ファクス 03(3961)2251
(<http://www.kensan-news.com/>)

支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部

日刊建設産業新聞社

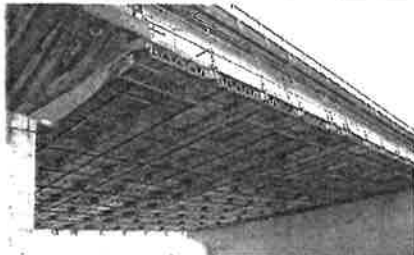
2017

新型システム 吊り足場 クイックデッキ採用現場を見学

国道1号宇治川大橋補修工事

日綜産業

近畿地方整備局京都国道事務所が整備している国道1号宇治川大橋補修工事(施工シヨボン



クイックデッキを採用

下建設)で、日綜産業の新型システム吊り足場「クイックデッキ」が採用され、順調に工事が進んでいる。なお、技術は16年5月に東北地方整備局にて新技術情報システム(NETIS)に登録されており、大型シヨッピングモールや航空機組立工場新築工事など全国で200件以上の納入・稼働実績を有している。クイックデッキは、人力で簡易な組立、水平旋回式の組立方法により困

難な足場架設を安全に施工、最大12.5m×7.5mの床ユニットを4点で吊り上げなどが特徴となっている。吊り足場で、足場作業の設置・撤去の短縮だけでなく、作業全体の工期と費用を削減する効果がある。日綜産業では、在来品にない基本構造の優位性はそのままに、「3Sシステム」の機能を付加した手すりや支柱を始め、床材のたわみを防止する孫梁やアルミ製の床版、オリジナル

L型幅木など独自の技術を組み込んだ「日綜モデル」として販売・レンタルを行っている。

国道1号宇治川大橋補修工事は、近畿地方整備局京都国道事務所が発注。工事場所は京都市伏見区横大路千両松。約50年前に開通した宇治川大橋(約54.5m)を施工する。なお、クイックデッキは約3500平方mが採用されている。施工はシヨボン建設、足場組立はデライトが担当。工事概要は、舗装(歩道部)2500平方m、橋梁付属物・伸縮継手(乾式止水材)48・5m、橋梁用高欄(亀裂修復)0・04m、橋梁補修・ひび

割れ補修(充填工法)68・02m、ひび割れ補修(低圧注入工法)154・84m、断面修復1・67立方m、桁補修・補修部材取付16・882m、亀裂抑制(ストップホール)104か所、亀裂抑制(切欠き)3か所、床版部分撤去・復旧0・006立方m、外面防食(紫外線硬化型FRPシート)46平方m、スーパーホゼン式工法182平方m、現場塗装360平方m、構造物撤去2立方m、仮設・足場(吊り足場)3530平方m、高所作業車。進捗率は5月末の出来高で85%。工期は7月15日。工事金額は2億1567万6千円(税込)。

5月29日

2017年
(平成29年)

月曜日

第18842号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

金矢

金岡

新

屋

平成29年(2017年)5月29日 (月曜日)

日綜産業

軽仮設機材メーカー

の日綜産業(本社・東
京都中央区、社長・小
野大氏)の先行床施工
式フロア型システム吊
り足場「クイックデッ
キ」約3500平方
が、京都府の宇治川大
橋の補修工事で採用さ
れた。

クイックデッキは、

フロア型システム吊り足場

京都・宇治川大橋 補修工事で採用

公共工事関連中心に拡販

米国の仮設機材メーカー
「最大手セーフウェイ
(SAFWAY)社が04
年に開発した。作業床
の先行設置やユニット
のシステム化などで、
安全な簡易施工・解体
工期短縮が可能。従来
製品の吊り足場のチェ
ーンピッチが約1.5倍
あるのに対して、クイ
ックデッキのピッチは
最大5倍の跳ね出し
で、これまで困難だっ
た場所にも設置でき
る。

日綜産業はオリジナル
製品の持つ基本構造
の優位性はそのまま
に、一部安全性を考慮
して同社従来製品の機
能や独自技術を組み込
んで日本仕様を改良。
14年6月から販売・レ
ンタルを開始した。大
型ショッピングモール

や航空機組立工場新設
工事の天井工事など、
納入・稼働中の現場は
200件以上。また、
一昨年5月には、東北
地方整備局で新技術情
報提供システム(NE
TIS)に登録された。
同社はこれを契機に、
橋梁向けなどの点検・
補修の公共工事関連を
中心に市場拡大を図る
方針だ。

今回の工事名は、国
土交通省近畿地方整備
局京都国道事務所発注

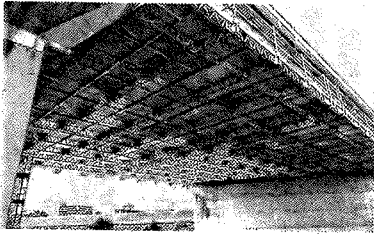
の「国道1号宇治川大
橋補修工事」。施工は

シヨード建設、足
場組み立ては「ダイヤ

ト」が担当する。作業所
長は「クイックデッキ

はピッチが大きいた
め、作業性に優れる。

また、安心・安全に補
修工事が進んでいる」
と話す。工期は16年9
月28日から17年7月15
日まで。



宇治川大橋補修工
事現場



採用されたクイックデッキ (宇治川大橋)

日綜産業「クイックデッキ」

宇治川大橋で3500²m採用

軽仮設大手の日綜産業(本社=東京都中央区、小野大社長)の新型システム吊り足場「クイックデッキ」が

このほど、国土交通省・近畿地方整備局京都国道事務所発注「国道1号宇治川大橋補修工

事(施工=ショーボンド建設、足場組み立て=テイライト)で、約3500平方メートル採用された。

近畿地整京都国道事務所では初採用。京都市伏見区の国道1号線に架かる宇治川大橋

(全長約546メートル)の補修を行うもので、工期は2016年9月から本年7月中旬まで。先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」は、最大5桁×5桁と従来

の吊りチェーン間隔が可能で、開口やすき間のない、快適で広い作業フロアを構築できる。国交省のNETIS(新技術情報システム)登録済み(登録番号=TH-150007-A)。

14年6月の発表以来、納入・稼働中の現場は200件以上となり、大型商業施設や工場天井部の新築・改修工事、新幹線高架の改修工事など幅広く採用されている。構造物補修・補強工事に強みを

持つショーボンド建設からの採用は最近、全国的に増えている。今回の採用現場でも、吊りチェーン間隔が広く作業性に優れる点や、高いシステム強度と先行床方式で足場の組み立てや工事を安全、安心に作業できる

との評価が得られている。日綜産業では多様な現場に適用可能な中、橋梁の点検・補修など公共工事への採用にも注力していく。